

4月号

さくら

平成25年

発行 医療法人社団柏信会

グループホーム 「櫻」

住所 逗子市桜山 6-1326

電話 046-873-8347

FAX 046-873-8328



(信州の春 安曇野のわさび田と芝桜(再掲))



(児童達のチアダンスを楽しむ皆さん)



黒船
KIDS
チアダンス
の
皆
さん
から
若
さ
を
貰
う



アウトドア皆さん元気に花めぐり

世の中は三日見ぬ間の櫻かなと言われますが、櫻も咲いたと思うと春の嵐に叩かれてしまいました。それでも季節を彩る花々は咲き誇って人々を楽しませてくれます。

ご利用者様もインフルエンザやノロウイルスにも罹患せず元気お過ごしです。面会等を控えて頂く等ご家族様のご協力に感謝申し上げます。

雑記:グループホームとはどんな施設 ?

入所する福祉施設にはいろいろな種類があります。其中で、認知症対応型共同生活介護と言われる「櫻」と同型の施設は逗子市内に現在4施設ございます。

「認知症」により、日常生活に支障をきたした方たちが一緒に入居して、家庭的な生活環境のもと、専門の介護スタッフ達がお手伝いをしながら、お馴染みの仲間を作って安定した日々をその人らしく「こころ」に添って生きることを目的とした、在宅的なケア施設です。

スタッフと一緒に食事を作ったり、散歩や買い物を楽しんだり慣れ親しんだ趣味やレクリエーションに興じたりしながら、人の持っている「隠された力」を引き出し、ご家族の皆様のご協力を賜りながら、ご利用者様の穏やかな人生のよりどころを目指すのが、本来のグループホームの姿なのです。

しかしながら最近では要介護度も進んだ方が増加傾向にあり、入居者の症状もかなりバラつきがあり共同生活に自ら参加することができない方が多く見られるようになりました。

市内の4施設はどこも同じ状況で、準特別養護老人ホームの様相を呈しております。介護従事者にとっては一番難しい介護技術が求められる施設です。

「さくら」への投稿

「さくら」のお便りも一人編集のためマンネリ化は否めません。一月号でもお願いいたしましたが、ご家族皆様のご投稿など頂ければ、新鮮な広報紙としてご覧いただけるものと思います。詩・短歌・俳句・川柳やご家族様同士のコミュニケーションにも繋がる話題等、是非ご投稿頂きたくお願い致します。



(今月のお誕生会(2Fの皆さん))

| | | |
|-------|-----|------------------|
| 5月号 | さくら | 発行 医療法人社団柏信会 |
| 平成25年 | | グループホーム 「櫻」 |
| | | 住所 逗子市桜山 6-1326 |
| | | 電話 046-873-8347 |
| | | FAX 046-873-8328 |



白馬大池の畔 ハクサンコザクラの群落



しょうぶ園 いつもの場所で ハイチーズ



アヤメより 私皆の 蕎麦(傍)が好い

水無月の水あふれるや梅雨の入り

爽やかなさつきも終わり又鬱陶しい梅雨に入りました。株価の乱高下に一喜一憂するこの頃ですが、少しは明るい兆しが見えてくるのでしょうか。

ご家族の皆様には如何がお過ごしでしょうか。「櫻」の日々お元気に過ごされておりますのでご安心下さい。

さて、5月は天候や体調を見ながら桜やつつじを観にドライブ、最後の締めは横須賀しょうぶ園に恒例の菖蒲の花とランチコースを楽しみました。

花の咲き具合は半分弱であったが、皆さんは存分に楽しまれたご様子、特にランチタイムは盛況でした。

梅雨の季節になり屋内生活が多くなりますが、極力外気浴などに心がけストレスの解消に努め、ご利用者のメンタルケアの充実を図りたいと思っております。

事務局より

1 「櫻」管理者の交代について

3月号でお知らせ致しました管理者の交代、諸般の事情で一月遅れの5月16日付で交代いたしました。林さゆり新管理者の下、鋭意サービスの向上に努めて参る所存です。ご協力ほどお願い申し上げます。

2 消防訓練の実施について

当初、4月にご利用者様も参加して頂き消防訓練を計画致しましたが、雨天のため順延、5月30日(木)に実施。

この日も雨のため逗子市消防職員の支援を受け、急遽講義と実技に変更して実施いたしました。

火災の発生原因、初期消火、避難誘導の基本を学び実技では消火器の取り扱い及び実演を行い、改めて火災予防の重要性を認識いたしました。

雑記:グループホームとはどんな施設

4月号で概要はご紹介させて頂きましたが、今回は「櫻」の日常についてお知らせ致します。

前にも申し上げたとおり、個人の意思を尊重しつつ自立した生活が送れるよう日々支援させて頂いています。

その中で、強要することなく個人の自由な意思を尊重し朝も目が覚めたら起き食事一人遅れることもある。

部屋で過ごしたければお部屋で、共用場所に居たければそこに居る等、見守りの中ではありますが自由に過ごされております。ご家族様にご面会に来られた時には一人ぼつんとされているお姿も見られるかと思えます。

昼食、夕食は概ね皆さんと一緒に召し上がり、午前と午後には通所リハビリセンターではありませんが希望者には歌やゲームなどに興じていただいております。

声掛けをしてなるべく閉じこもりを防止、参加を促しており、洗濯物の片付け、庭の花の水遣りなど、個々の興味に合わせスタッフと語らいながら日々を送って居ります。勿論、天候と体調を見ながら可能な限り外の空気に触れるようにしております。

一日を通して見て頂く機会があれば、「櫻」はこんな所かどご理解できると思っておりますが機会がなく残念です。

